# エコアクション21環境活動レポート

（平成24年6月～平成25年5月）

株式会社フジタ建設コンサルタント

# 取組の対象組織・活動

## (1) 名称及び代表者名

株式会社フジタ建設コンサルタント
代表取締役　藤田　定吉

## (2) 所在地

本　　社　〒771-0204　徳島県板野郡北島町鯛浜字原87－1
阿南営業所　〒774-0017　阿南市見能林町青木148-7
徳島営業所　〒771-0136　徳島市川内町平石古田261

## (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部次長
杉山　孝一
TEL:088－698－2155
E-mail　koichi-sugiyama@fujitacc.co.jp

担当者 管理部　総務課　主任
豊崎　純司
TEL:088－698－2155
E-mail　junji-toyosaki@fujitacc.co.jp

## (4) 事業活動の内容

一般公共構築物に関する設計、測量、調査及び補償業務

| 登録事業名 | 登録番号 |
|---|---|
| 測量業 | 第12-1717号 |
| 建設コンサルタント | 建21第453号 |
| 地質調査業 | 質24第1653号 |
| 補償コンサルタント | 補20第189号 |
| 一級建築士事務所 | 第11096号 |
| 計量証明事業所 | 第75・76・86号 |

## (5) 事業の規模

| | |
|---|---|
| 設立年月日 | 昭和41年6月1日 |
| 資本金 | 4千万円 |
| 売上高 | 9億7千万円 |
| 従業員数 | 81名 |
| 延べ床面積 | 1,570㎡ |

## (6) 事業年度

6月～翌年5月

## (7) 認証登録対象範囲

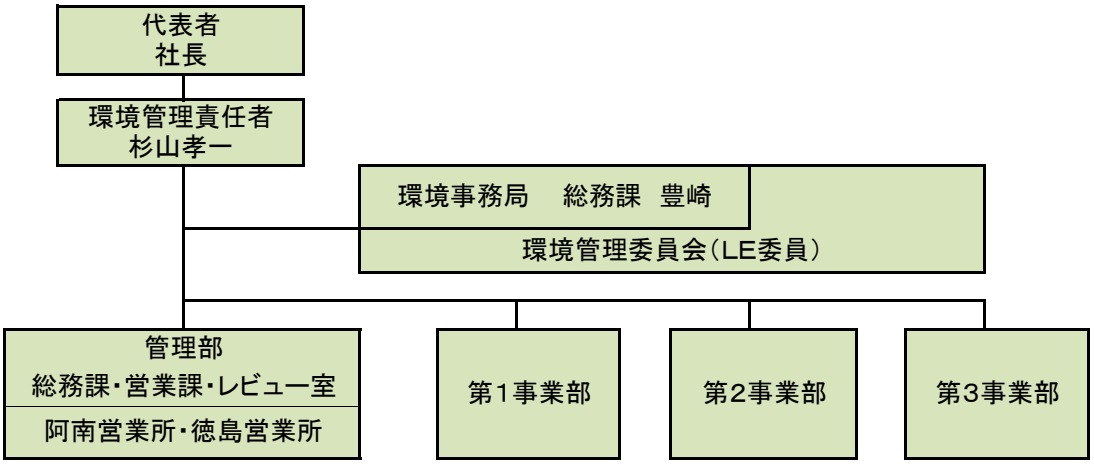
全社・全組織

## (8) レポートの対象期間及び発行日

対象期間　平成24年6月1日～平成25年5月31日
発行日　　平成25年7月1日

**実施体制の構築**

# 株式会社 フジタ建設コンサルタント
# 実施体制図及び役割・責任・権限表




| | 役 割 ・ 責 任 ・ 権 限 |
|---|---|
| 代表者（社長） | ・環境経営に関する統括責任<br>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備<br>・環境管理責任者を任命<br>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知<br>・代表者による全体の評価と見直しを実施 |
| 環境管理責任者 | ・環境経営システムの構築、実施、管理、<br>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認<br>・環境目標・環境活動計画書を承認<br>・環境活動の実績集計を承認<br>・環境活動の取組結果を代表者へ報告・<br>・環境活動レポートの承認<br>・是正、予防処置の勧告 |
| 環境事務局 | ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局<br>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施<br>・環境目標、環境活動計画書原案の作成<br>・環境活動の実績集計<br>・環境関連法規等取りまとめ表の作成<br>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施<br>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口<br>・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） |
| 部門長 | ・自部門における環境経営システムの実施<br>・自部門における環境方針の周知<br>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施<br>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告<br>・特定された項目の手順書作成及び運用管理<br>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成<br>・テスト、訓練を実施、、記録の作成<br>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 環境管理委員会（LE委員） | ・特定された項目の運用管理及び記録の作成 |
| 全従業員 | ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚<br>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

# 環 境 方 針

## ＜基本理念＞

我々は、自然と人間の調和をめざし、企業活動の一環として社会的責任を果たすとともに地域社会の住みよい生活環境創りに貢献する。

また、企業活動において、環境負荷の低減や環境に配慮した活動に取り組み、自主的、積極的な継続的改善に努める。

## ＜行動指針＞

具体的に次のことに取り組むものとする。

①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②廃棄物の３Ｒ（減量、再使用、再生利用）の推進

③水資源の節水

④事務用品のグリーン購入

⑤環境関連法規制や徳島県条例その他の遵守

⑥ 環境配慮型の設計

⑦会社周辺の道路・河川の清掃活動の推進

⑧環境方針を全従業員に周知徹底し、環境活動レポートにより公表する

制定日： 平成23年2月1日
改定日：

代表取締役 藤田定吉

## 環境目標

1) 単年度目標

| 項目 | 単位 | 基準年 | 目標 |
|---|---|---|---|
| | | H21.6 ～ H22.5 | H24.6 ～ H25.5 |
| CO2 排出量 | Kg-$CO_2$ / 年 | 113,252 | 112,000 |
| 電力使用量 | MJ / 年 | 1,767,965 | 1,752,000 |
| 燃料 | MJ / 年 | 675,284 | 669,200 |
| 上水使用量 | $m^3$ / 年 | 1,420 | 1,405 |
| 廃棄物排出量 | t / 年 | 11.4 | 11.1 |
| グリーン購入量 | 品目 | 1 | 4 |
| 事務用紙使用量 | t / 年 | 4.4 | 4.1 |
| 環境配慮型の設計 | 件 / 年 | 1 | 6 |
| 地域貢献 | 回 / 年 | 3 | 3 |

※ 削減率は、毎年0.3% とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO2/Kwh とした。

2) 中長期目標(3～5年先)

| 項目 | 単位 | H21.6 ～ H22.5 | H22.6 ～ H23.5 | H23.6 ～ H24.5 | H24.6 ～ H25.5 | H25.6 ～ H26.5 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 基準年 | 目標 | 目標 | 目標 | 目標 |
| CO2 排出量 | Kg-$CO_2$ / 年 | 113,252 | 112,900 | 112,500 | 112,000 | 111,500 |
| 電力使用量 | MJ / 年 | 1,767,965 | 1,762,000 | 1,757,000 | 1,752,000 | 1,747,000 |
| 燃料 | MJ / 年 | 675,284 | 673,200 | 671,200 | 669,200 | 667,200 |
| 上水使用量 | $m^3$ / 年 | 1,420 | 1,415 | 1,410 | 1,405 | 1,400 |
| 廃棄物排出量 | t / 年 | 11.4 | 11.3 | 11.2 | 11.1 | 11.0 |
| グリーン購入量 | 品目 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 事務用紙使用量 | t / 年 | 4.4 | 4.3 | 4.2 | 4.1 | 4.0 |
| 環境配慮型の設計 | 件 / 年 | 1 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 地域貢献 | 回 / 年 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

※ 削減率は、毎年0.3% とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO2/Kwh とした。

## 環境目標の実績

1) 本年度実績

| 項目 | 単位 | 基準年 | 24年度 | | | 達成状況 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目標 | 前年実績 | 実績 | 度合 | | 目標との差 |
| | | H21.6 ～ H22.5 | H24.6 ～ H25.5 | H23.6 ～ H24.5 | H24.6 ～ H25.5 | 目標比 | 前年比 | |
| CO2 排出量 | Kg-$CO_2$ / 年 | 113,252 | 112,000 | 126,565 | 131,138 | × | × | 19,138 |
| 電力使用量 | MJ / 年 | 1,767,965 | 1,752,000 | 1,836,539 | 1,835,467 | × | ○ | 83,467 |
| 燃料 | MJ / 年 | 675,284 | 669,200 | 833,751 | 902,308 | × | × | 233,108 |
| 上水使用量 | $m^3$ / 年 | 1,420 | 1,405 | 1,367 | 1,366 | ○ | ○ | -39 |
| 廃棄物排出量 | t / 年 | 11.4 | 11.1 | 10.9 | 7.8 | ○ | ○ | -3 |
| グリーン購入量 | 品目 | 1 | 4 | 4 | 4 | ○ | ○ | 0 |
| 事務用紙使用量 | t / 年 | 4.4 | 4.1 | 4.8 | 4.80 | × | △ | 1 |
| 環境配慮型の設計 | 件 / 年 | 1 | 6 | 5 | 7 | ○ | ○ | 1 |
| 地域貢献 | 箇所 / 年 | 3 | 3 | 3 | 5 | ○ | ○ | 2 |

電力使用量 排出係数は、0.378Kg-$CO_2$/Kwh とした。

## 環境活動計画の取組結果とその評価

期間 ： 平成24年6月 ～ 平成25年5月

| 項目 | | 活動内容 | 担当者 | 取組結果 | 評価 | 評価 ・ 指示 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CO2排出量削減 | 燃料使用量削減 | エコドライブの励行 | 部内安全運転管理者 | アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行った | ○ | アイドリングストップは徹底できておらず、周知を強化する |
| | | 適正な車両整備 | 総務課 | 3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行った | ◎ | 計画どおり実施されている |
| | | | | | | |
| | 電力使用量削減 | エアコンの温度設定（冷房28℃ 暖房20℃） | LE委員 | エアコンの温度設定をこまめに調節した | ○ | デマンド監視が効果的であった |
| | | 屋上散水（夏期）によるデマンド管理 | 総務課 | 社屋内部の温度上昇抑止に効果的であった | ◎ | 良くできており習慣化した |
| | | 不要時の消灯 | LE委員 | 使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施した | ◎ | 良くできており習慣化している |
| | | 照明機器・エアコン・窓の清掃 | 火元責任者 | 12月に実施した | ◎ | 継続する |
| | | LED照明機器へ順次取り替え | 総務課 | 故障した照明器具はその都度LED照明に取り替えた | ◎ | 継続する |
| 用水使用量削減（排水量削減） | | 手洗い・洗い物時の日常的節水の励行 | LE委員 | 適正化の指導 | ○ | 継続する |
| | | | | | | |
| 廃棄物削減 | | 分別ボックスの設置 | LE委員 | | | |
| | | 裏紙使用 | LE委員 | コピーの裏紙使用・メモ帳に使用した | ◎ | ミスプリントの削減も目指すこと |
| | | | | | | |
| グリーン購入 | | エコマーク商品の積極的購入 | LE委員 | 大型エアコンの買換に際してもグリーン適用機種を選定した | ○ | 省エネに貢献している 範囲の拡大を検討する |
| | | | | | | |
| 事務用紙使用量削減 | | 社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化 | LE委員 | | ○ | 電子化の効果が出ている 更に推進のこと |
| | | 裏紙使用 | | | | |
| 環境配慮型の技術提案 | | 環境配慮型の設計 | 部門長 | 7件の業務を実施した | ○ | 継続する |
| | | | | | | |
| 地域貢献（清掃活動） | | 各部で、3回／年 実施する | 部門長 | | ○ | 継続する |
| | | 徳島協働の森づくり事業への参加 | 総務課 | 10月には現地にて看板を設置した | ○ | 継続する |

## 次年度の取組内容

期間 ： 平成25年6月 ～ 平成26年5月

| 項目 | | 活動内容 | 担当者 | 取組内容 | 評価 | 見直し |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CO2排出量削減 | 燃料使用量削減 | エコドライブの励行 | 部内安全運転管理者 | アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行う | | |
| | | 適正な車両整備 | 総務課 | 3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行う | | |
| | | | | | | |
| | 電力使用量削減 | エアコンの温度設定（冷房28℃　暖房20℃） | LE委員 | エアコンの温度設定をこまめに調節する | | |
| | | 屋上散水（夏期）によるデマンド管理 | 総務課 | 屋上の散水により社屋内部の温度上昇を抑える。 | | |
| | | 不要時の消灯 | LE委員 | 使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施する | | |
| | | 照明機器・エアコン・窓の清掃 | 火元責任者 | 年末に実施 | | |
| | | LED照明機器へ順次取り替え | 総務課 | | | |
| | | 太陽光発電の導入を検討する | 総務課 | | | |
| 用水使用量削減（排水量削減） | | 手洗い・洗い物時の日常的節水の励行 | LE委員 | 適正化の指導 | | |
| | | | | | | |
| 廃棄物削減 | | 分別ボックスの設置 | LE委員 | | | |
| | | 裏紙使用 | LE委員 | コピーの裏紙使用・メモ帳に使用する | | |
| | | | | | | |
| グリーン購入 | | エコマーク商品の積極的購入 | LE委員 | | | |
| | | | | | | |
| 事務用紙使用量削減 | | 社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化 | LE委員 | | | |
| | | 裏紙使用 | | | | |
| 環境配慮型の設計 | | 環境配慮型の設計 | 部門長 | 設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく | | |
| | | | | | | |
| 地域貢献（清掃活動） | | 各部で、3回／年　実施する | 部門長 | | | |
| | | 徳島協働の森づくり事業への参加 | 総務課 | カーボンオフセット | | |

## 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

| 適用される法規制 | 適用される施設等 |
|---|---|
| 環境基本法 | 事務所 |
| グリーン購入法 | 事務所 |
| 地球温暖化対策の推進に関する法律 | 事務所 |
| 環境配慮事業促進法 | 事務所 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 事務所 |
| 特定家庭用機器再商品化法 | 事務所 |
| フロン回収破壊法 | 事務所 |
| 浄化槽法 | 事務所 |
| 徳島県地球温暖化対策推進条例 | 事務所 |
| 徳島県生活環境保全条例 | 事務所 |
| 消防法 | 事務所 |

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去３年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

## 代表者による全体の評価と見直し

| 項目 | 評価・見直し | 担当者 | 期限 | 見直し結果 |
|---|---|---|---|---|
| 環境マネジメントシステムについて | 【マネジメントシステムの各要素】<br><br>マネジメントシステムに従って各項目を理解し、継続的改善を図ること。 | 管理責任者<br>杉山孝一 | H25.9.末 | 【マネジメントシステムの各要素】<br><br>太陽光発電の導入について検討すること。 |
| 環境パフォーマンス評価 | 【環境方針】<br><br>環境方針は全社員が内容を理解して自発的に活動している。<br><br>【目標】<br><br>業務量の増加により、燃料の使用量が増加したためCO2 排出量目標は達成できなかった。<br>その中で電力使用量及び事務用紙使用量が前年並みであったことは評価できる。 | | | 【環境方針】<br><br>環境方針に従って行動すること。<br><br>【目標・環境活動計画】<br><br>環境活動計画を十分に熟知し、これからも目標達成に向けて計画を推進すること。 |

# 環境保全活動の紹介

## デマンド装置の設置

## 使用量削減のための表示

## アイデア表示

社内の至るところにこのような表示があります。

## 屋上の散水

東風が吹く日は、屋上出入り口へ
涼しい風が吹き込んできます。

階下フロアのエアコンの効きもよく、
節電効果大です。

## 徳島協働の森づくり事業

徳島県では、企業等の皆様と協働で森づくりを実施する『とくしま協働の森づくり事業』を推進しています。
この度、株式会社フジタ建設コンサルタント様のご協力により間伐を実施した神山町の森林に、「とくしま協働の森づくり事業」の看板を設置しましたのでお知らせします。フジタ建設コンサルタントでは、企業活動において環境負荷の低減や環境に配慮した活動に取り組み、自主的、積極的な継続的改善に務める「エコアクション21」に取り組まれています。

2012 年10 月29 日 徳島県HP 掲載文より

◇森の概要
名西郡神山町阿野　スギ・ヒノキ人工林　間伐面積１．３８ｈａ（※1.0haは100m×100m）
◇活動の様子等

◇森林の状況

間 伐 前

間 伐 後

## ボランティア活動

徳島県OURロードアドプト

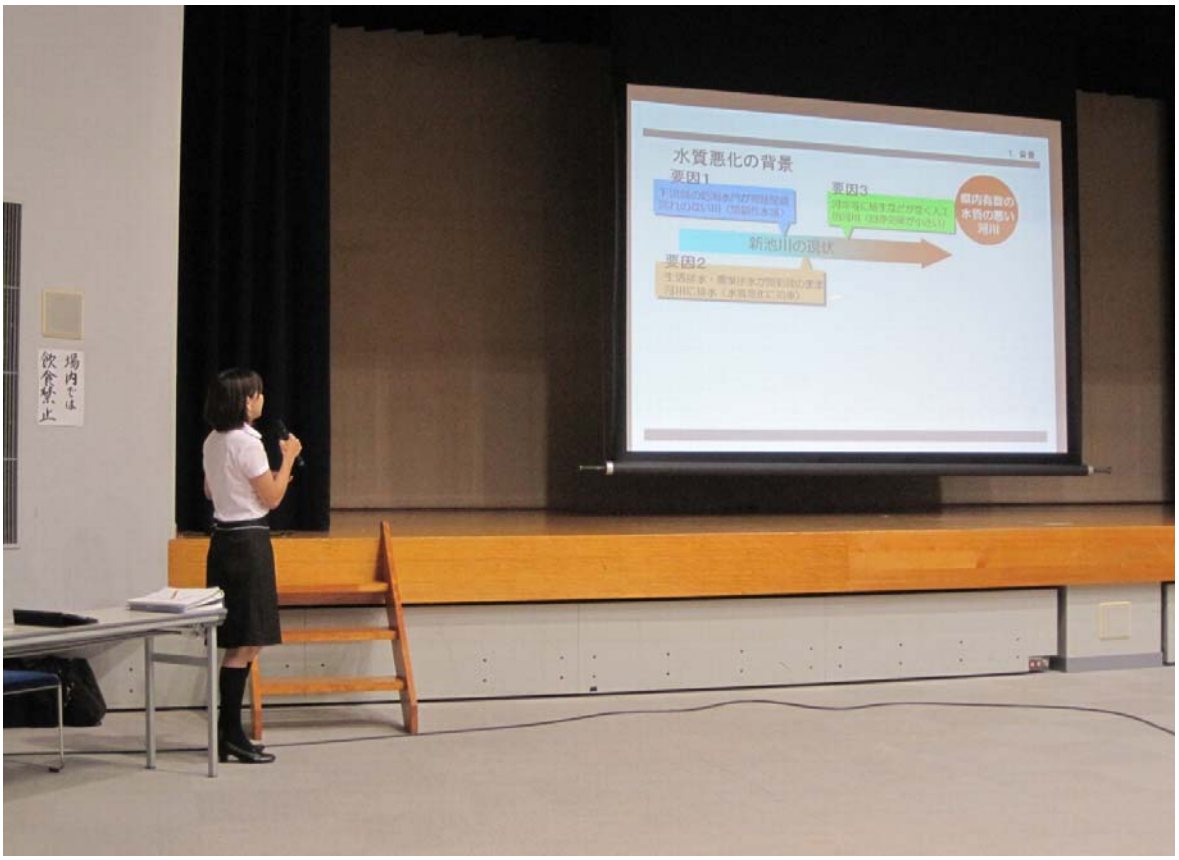
「Adopt program 吉野川」
（応神大橋から下流へ600mの区間）

北島町土木施設アドプトプログラム

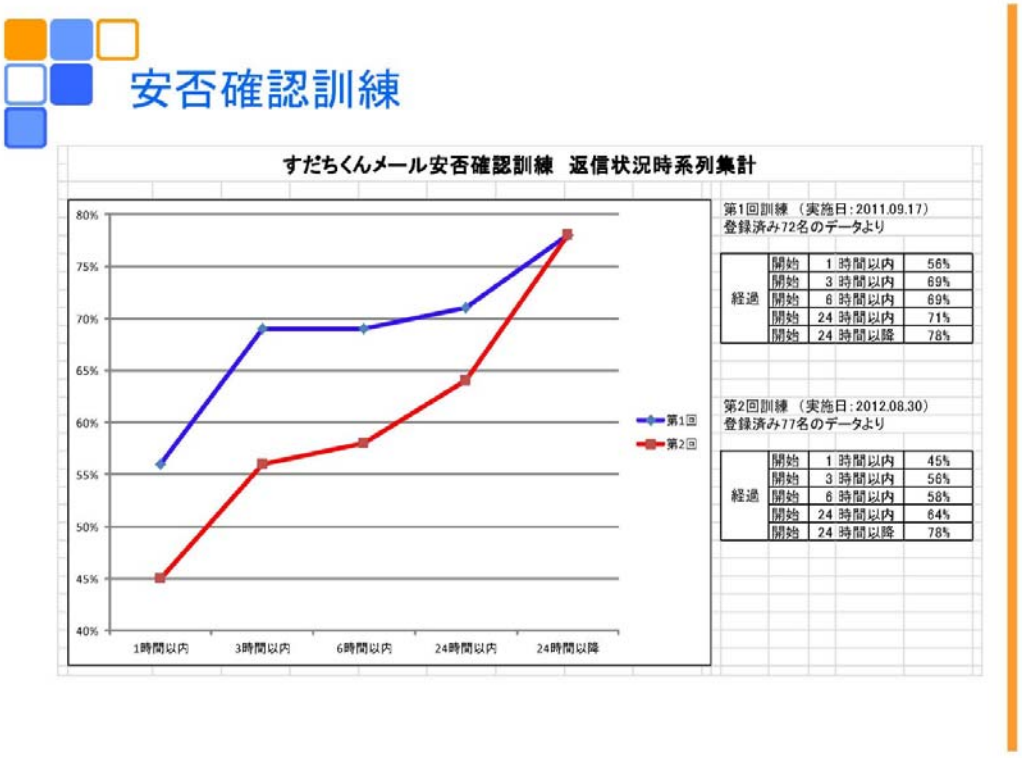
## 会社駐車場の清掃　洗車

## 技術発表会

環境に配慮した業務事例として河川の浄化導水に関する事例を全社員が学びました。




BCP　安否確認訓練の結果報告もされました



経済産業省 四国経済産業局が発行する冊子「節電・省エネ優良事例集」に
わが社のエコアクション２１の取り組みが掲載されました。

オフィス　**フジタ建設コンサルタント**

## エコアクション21を導入し社員一丸で省エネを実行

「ウチの会社は家族のように何をするにも全員で行います。そういう土壌があるからこそいろんなことに取り組めたんです」とエコアクション21の責任者・杉山氏は語る。「実はエコアクション21を導入する前から、社内ではゴミの分別や省エネなど、社員の間では当然のこととしてエコ活動が行われていました。だからエコアクション21の取得は普段と変わらぬ活動の延長線という感じで取り組みました」と杉山氏。《とりあえずやってみよう》という社風で、誰からでも発信ができる。それが波及して全員で取り組むようになるということだ。

例えば、屋内温度を下げるための夏場の屋上への打ち水。大規模な装置は何もない。散水用のホースを屋上に置き、気づいた人が蛇口をひねるだけ。「担当を置かずとも誰かがやってるんです。それがウチの会社の特徴なんですよね」。また、社員が作成した省エネを呼びかけるユニークな掲示物があちこちで見られた。これらは特に誰から指示された訳でもなく自主的に作成されたものだそうだ。

▲屋上の打ち水の様子。屋上を冷やすだけで室温と体感温度が違うのだそう。

◀自由に飲めるお茶は冷蔵庫不要。よく冷えていて涼がとれる。持ち運びもできて便利。

## 社員のアイデアを全員で実行。秘訣は、「みんなで遊ぶ」こと！

## ピークカットのため時間差で空調をON

夏になるとさすがに空調の出番だが、ここでも1つアイデアがある。1～3階の空調を時間差で入れていくのだ。朝7時45分に3階、続いて8時に2階、最後に1階を8時15分につける。「同時に空調をつけるとデマンド値が上がるので、これは効果があります。早めに来て仕事をする人はその時間までは我慢ですけどね」。

デマンド監視装置も設置しており、警告音が鳴ると館内放送をして空調の温度を1度上げる。社長をはじめ、社員が一丸となってスクラムを組んでいる会社ならではの取り組みといえよう。

◀▼これらは社内の人が自作したもの。ほのぼのとした社内の雰囲気が伝わってくる。

◀電気のスイッチには社員さんの名前が。自分が席にいない時には消灯することを徹底している。

**株式会社**
**フジタ建設コンサルタント**

徳島県板野郡北島町鯛浜字原 87-1
☎ 088-698-2155
http://www.fujitacc.co.jp/

業種：建設コンサルタント

**取り組んでみて**

管理部　**杉山　孝一さん**

会社を自分の家だと思えば、強制ではなくみんなが楽しく実行できる。そして効率を上げて、気持ちよく仕事ができる環境を全員で作る。"みんなで遊ぶ"という感覚で、節電・省エネに取り組んでいます。